

参考資料

(1) 商品大分類基準一覧表

商品大分類名称	概要
1. 家電・AV機器	家庭用電気製品会社、音響映像機器会社、電気美容・医療製品会社
2. 自動車・輸送用機器・用品	自動車製造会社、自動車販売会社、自転車製造会社、航空機製造会社、自動車部品・アクセサリー製造会社
3. カメラ・時計・精密機器	カメラ・撮影・映写機製造会社、時計・時計用品会社
4. 業務用機器・事務用品	コンピュータ・事務機械・電気・電子機械製造会社、事務用家具会社、事務用品・文具会社、電気機械・通信機械会社、産業用機械製造会社
5. 住宅設備機器・用品	住宅設備会社、住宅用家具会社、家庭用品会社、ミシン・縫機会社
6. 趣味レジャー・スポーツ用品	楽器・レコード会社、園芸・ペット用品会社、玩具会社、スポーツ用品会社
7. エネルギー・原材料・建材	石油・ガス・電力・その他エネルギー会社、製紙、化学、ゴム、セメント、硝子、鉄鋼・金属、建材、塗料、飼料会社
8. 医薬・衛生用品	製薬会社、薬剤会社、衛生用品会社
9. 化粧品・トイレットリー	化粧品会社、歯磨会社、石鹸・洗剤会社、カツラ・化粧道具会社、住宅用ワックス・化学品会社
10. 食品	調味料会社・油脂会社、乳製品会社、菓子会社、製粉・製麺会社、製パン会社
11. 飲料・嗜好品	ビール・洋酒会社、清酒会社、コーヒー・紅茶・製茶会社、清涼飲料会社
12. ファッション・アクセサリー	原糸・原反会社、縫製品会社、寝具類会社、製靴会社、アパレル会社、バッグ・貴金属・メガネ・身の廻り品製造会社
13. 出版	出版会社、新聞社、その他出版会社
14. 金融・保険・証券	銀行、生命保険・損害保険会社、証券会社、クレジット・ローン会社、商品取引会社
15. 流通・小売業・商社	百貨店、月賦百貨店、量販店、総合ショッピングセンター、家電・貴金属・家具・楽器・スポーツ・薬局・洋服・和服・靴小売店、商社
16. 不動産・建設	不動産会社、プレハブ規格型住宅会社、建設会社、倉庫会社
17. 交通・運輸	航空・海運・電鉄・陸運など運輸会社
18. 観光・娯楽・外食	旅行代理店、観光団体、宿泊業、娯楽施設、映画・興行会社、飲食業
19. 放送	テレビ・ラジオ放送会社
20. 官公庁・各種団体	官公庁、地方自治体、公社、外国官庁、宗教、政治団体、各種団体
21. 学校・通信教育	学校、専修学校、大学、短大、通信教育
22. 情報・通信	電話・プロバイダ会社、移動体通信会社、インターネット関連会社、情報通信サービス会社など
23. 通信販売	通信販売会社
24. 事業所サービス・対人サービス	広告代理店、警備会社、リース会社、病院、人材派遣会社などの専門サービス会社、美容理容店、レンタカー会社、結婚相談所などの対人サービス会社
25. 企業グループ	企業グループ、分類不能
26. 臨時・案内・サス	臨時、案内広告(新聞)、サス(テレビ、ラジオ)

(2) 交通広告、データの読み方

メディア指標—交通メディアと他メディアの比較

各メディアの指標は、それぞれ異なるメディア環境を背景に、個別に確立されたものです。そのため指標同士を単純比較することはできませんが、メディア指標の対照関係を知る1つの目安として、以下の通り図表化しました。

	交通	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	街	インターネット
接触可能数	沿線・エリア内推定人口	サービスエリア内推定人口	サービスエリア内推定人口	発行・販売エリア内推定人口	発行・販売エリア内推定人口	車両交通量	インターネット推定利用者数
	輸送人員・駅別乗降人員	テレビ普及台数	ラジオ普及台数	販売部数・発行部数	販売部数・発行部数	歩行者数	世帯普及率(PC) 個人普及率(モバイル)
媒体 接触率属性情報	線区乗車率・駅利用率	個人視聴率	聴取率	新聞閲読者率	雑誌閲読率	来街率	接触者率(ページビュー)
	利用者プロフィール	視聴者プロフィール	聴取者プロフィール	閲読者プロフィール	閲読者プロフィール	来街者プロフィール	接触者プロフィール
	乗車・駅利用形態	視聴形態(専念・ながら)	聴取形態	宅配率	閲読形態(駅売り・書店他)	DEC*	コミュニティ参加(CGM)
	重複利用状況・流入流出	専念・ながら視聴	聴取形態(屋内・車内等)	精読率	デモグラフィック&ライフスタイル特性	DEC*	コミュニティ参加(e-WOM)
乗車時間・利用回数・定期券所有状況	重複流入流出時間量・時間帯	重複流入流出時間量・時間帯	重複閲読・回読	重複精読・閲読・閲読期間・反復閲読・イメージ	重複来街状況・来街目的	重複流入流出時間量・時間帯	
広告 接触・認知 態度変容 出稿量	広告接触率 広告到達率	TVCM認知率		新聞広告注目率	雑誌広告注目率	屋外広告注目率	クリック(率) インプレッション数 ユニークユーザー
	商品興味関心度 商品購入喚起度	広告内容理解 商品興味関心			商品特徴理解 商品興味関心		ポストインプレッション ポストクリック
	中づり広告統計・ 交通広告出稿統計	TVCM統計	ラジオCM統計	新聞広告統計	雑誌広告統計		

* DEC : Daily Effective Circulation 屋外広告の媒体接触効果を表す最も基本的な指標で、「当該屋外広告の1日当たりの有効通行量」、つまり「その屋外広告を見る事が出来る場所を1日当たり何人が通行したか」という数字で、アメリカを始めとして、海外でも使われている屋外広告に欠かせない基本指標です。

(2) 交通広告、データの読み方

延べ乗車率・延べ利用率の考え方

首都圏生活者のうち、どれだけの人が路線や駅を利用しているかという、露出効果の指標として「路線乗車率」と「駅利用率」に基づく「延べ乗車率」、「延べ利用率」があり、それぞれ下記の考え方により算出されます。

路線の指標

延べ乗車率 = $\frac{\text{累積乗車率}}{\text{平均乗車回数}}$

例) 山手線群 $\text{延べ乗車率 } 110.7\% = \text{累積乗車率 } 20.1\% \times \text{平均乗車回数 } 5.5 \text{ 回}$

駅の指標

延べ利用率 = $\frac{\text{累積利用率}}{\text{平均利用回数}}$

例) 新宿駅 $\text{延べ利用率 } 33.1\% = \text{累積利用率 } 8.2\% \times \text{平均利用回数 } 4.0 \text{ 回}$

口別利用率の考え方

駅構内の各改札口について1週間の利用経験を調査し、口別利用率を算出しています。

口別利用率の算出方法

口別利用率 = $\frac{\text{1週間で調査対象者が当該改札口を利用した総数}}{\text{1週間で調査対象者が当該駅の改札口を利用した総数}}$

例) A駅の口別利用率

- 北口30% = $\frac{\text{北口を1週間に利用した回数 } 300 \text{ 回}}{\text{A駅の1週間の改札口の利用総数 } 1,000 \text{ 回}}$
- 南口50% = $\frac{\text{南口を1週間に利用した回数 } 500 \text{ 回}}{\text{A駅の1週間の改札口の利用総数 } 1,000 \text{ 回}}$
- 西口20% = $\frac{\text{西口を1週間に利用した回数 } 200 \text{ 回}}{\text{A駅の1週間の改札口の利用総数 } 1,000 \text{ 回}}$

※各駅とも改札口の利用率の合計が100%になります

口別延べ利用者数の推計方法

首都圏生活者数 × **駅の1週間延べ利用率** × **口別利用率** = **口別延べ利用者数**
[1週間の当該口の延べ利用者数]

A駅の「1週間延べ利用率」を16%とすると、
A駅北口の「口別延べ利用者数」は約138万人と推計できます。

$2,847 \text{ 万人} \times 16\% \times 30\% = \text{約 } 138 \text{ 万人}$

※ 12-74歳の首都圏生活者の推計 [A駅の1週間の延べ利用率] [北口の口別利用率] [1週間にA駅北口を利用した延べ人数]

※ 駅の1週間延べ利用率には乗り換えも含まれます ※ 駅の1週間延べ利用率はP51~P55を参照 ※ [jeki]首都圏移動者調査2019 [ジェイアール東日本企画調べ]

- | | | | | | | | | |
|---------|---------|----------|---------|----------|--------|----------|----------|---------|
| 1. 赤羽 | 9. 上野 | 17. 大宮 | 25. 神田 | 33. 桜木町 | 41. 立川 | 49. 西日暮里 | 57. 松戸 | 65. 代々木 |
| 2. 秋葉原 | 10. 鶯谷 | 18. 大森 | 26. 関内 | 34. 品川 | 42. 田端 | 50. 西船橋 | 58. 三鷹 | |
| 3. 阿佐ヶ谷 | 11. 浦和 | 19. 御徒町 | 27. 北千住 | 35. 渋谷 | 43. 田町 | 51. 日暮里 | 59. 武蔵小杉 | |
| 4. 浅草橋 | 12. 恵比寿 | 20. 荻窪 | 28. 吉祥寺 | 36. 十条 | 44. 千葉 | 52. 浜松町 | 60. 武蔵境 | |
| 5. 飯田橋 | 13. 王子 | 21. 御茶ノ水 | 29. 錦糸町 | 37. 新宿 | 45. 鶴見 | 53. 原宿 | 61. 目黒 | |
| 6. 池袋 | 14. 大井町 | 22. 柏 | 30. 国分寺 | 38. 新橋 | 46. 東京 | 54. 藤沢 | 62. 有楽町 | |
| 7. 市ヶ谷 | 15. 大崎 | 23. 蒲田 | 31. 五反田 | 39. 水道橋 | 47. 戸塚 | 55. 船橋 | 63. 横浜 | |
| 8. 市川 | 16. 大船 | 24. 川崎 | 32. 駒込 | 40. 高田馬場 | 48. 中野 | 56. 町田 | 64. 四ツ谷 | |

※ 太字の駅は、P22~P31において紹介しています。上記65駅につきましては、口別利用率データがございます

参考資料

(3) JR東日本データアラカルト

総営業距離 **7,401.7km**

車両数 **12,846両**

駅数 **1,676駅**

線区数 **69線区**

JR東日本営業エリア

—— 新幹線

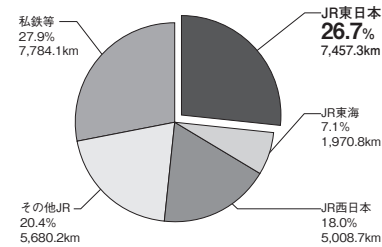
※2020年3月31日現在
 ※出典：東日本旅客鉄道株式会社「会社概要」



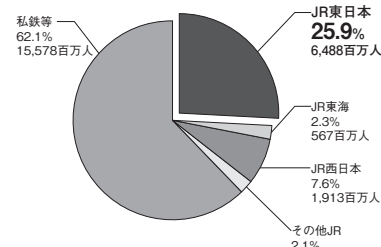
※東日本大震災の影響により、一部で不通となっている区間がございます。
 ※上記路線図は、2020年2月現在の資料に基づいて作成しております。

国内鉄道事業における
 JR東日本のシェア

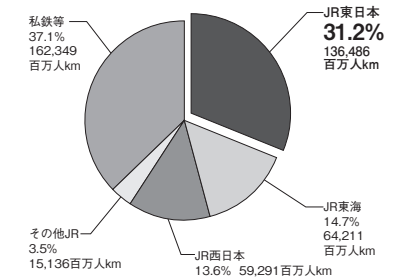
■営業キロ



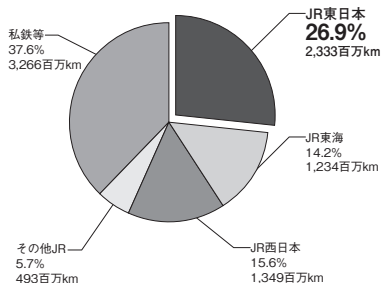
■輸送人員



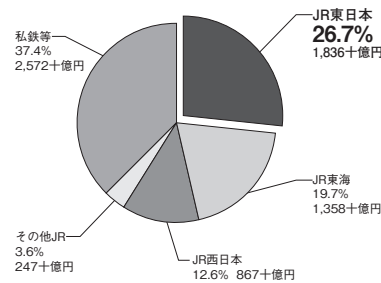
■輸送人キロ



■車両キロ



■旅客運輸収入



2019年3月期または3月期末
 ※JR貨物を含みません
 ※営業キロは貨物専用線を含みません
 ※車両キロは機関車、貨車を含みません
 ※東京モノレールは私鉄等に含めます
 ※運送処理の関係上、合計値が合わない場合があります
 ※出典：国土交通省「平成29年度鉄道統計年報」